

平成 29年 5月 26日

敬愛短大附属幼稚園だより6月号

4月に入園した年少さんたちは、お誕生会や幕張海浜公園への遠足で思い切り身体を動かしたりする行事を通して幼稚園での生活にも慣れてきました。また、全園児が揃っての園庭での活動もとても活発です。

5月27日(土)から年長さんを対象として今年度から年間10回開催する「かがくのひみつきち」という親子の科学教室がスタートします。私たちも、未来の科学者が誕生することを夢見て楽しみに進めて行きたいと思います。今回はその科学教室の内容を少し紹介いたします。

1 プログラムはショートピースです



この時期の子どもたちの集中できる時間はまだとても少ないので、まずは、親子がともに楽しくできる科学の時間を共有したいと思います。指先の扱いもまだ上手にできないことも多いですが、そのような場合でも、自分でできるところまでやりながら保護者の方の助けを借りて完成させた後、一緒に楽しんで使用していただければと思います。きっと、ご家庭に帰ってからもご家族で話題になるとと思います。

2 内容は、テレビ番組に提供し、実際に放送したプログラムも多いです

日本TV「世界まる見え」、テレビ東京「ロンブーの怪傑トリックスター!」、テレビ朝日「ぷっすま」、Eテレ(旧NHK教育放送)「科学大好き土曜塾」などで行った実験の再現もあります。

実際に放送されたテレビ番組を視聴した後に、同じ実験もしますので楽しみにしてご参加ください。しかも、私一人でなく、良い意味の「行列のできる保健室」と言われる、かつては理科が好きではなかった養護教諭の妻も参加させていただきますので、もしかしたら私の失敗や忘れた場面を鋭く突く場面も見られるかも知れません。



3 自分で製作したものを子どもたちはより大切にします

ものすごくよく考えて製作された立派なものより、形が多少悪くても自分で製作したものに子どもたちはより強く愛着を持ち大切にします。そして、それは何年にも渡って宝物のようになります。

「面白い、どうだ、すごいだろう!」というだけの科学教室でなく、ここで行う科学教室はアットホームで後々まで話題が継続し、小学校の自由研究のテーマを決めるときにも役立つ内容が満載です。ごきょうだいが上にいる方は内容をマスターして「科学のソムリエ」としてそっと上のお子さんに教えてあげてください。また、年少・年中さんの保護者の皆様もお子様が年長さんになるのをぜひ楽しみにしてお待ちください。

(園長 杉山)

